



## 歯学部創設30周年



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 五十嵐 武  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>

昭和大学歯学部は創設30周年を迎えました。

### 新任教授挨拶

総合内科 井上 紳

この春より昭和大学歯科病院総合内科教授を拝命いたしました。歯学部教育や歯科病院での診療に邁進し、よりよい医療を目指して誠心誠意努力する所存であります。



総合内科は平成17年4月に歯科病院に新設されました。高血圧・心臓病など循環器疾患が小生の専門ですが、アレルギー疾患・呼吸器疾患が専門の田崎俊之先生とともに自分の専門にとらわれず、広く医科領域の疾患に対応したいと考えています。特に、歯科病院では時間的な制約が少ない分、患者さんから十分な問診を行い、しっかりと身体所見をとって診断・治療を行いたいと考えております。専門的な検査・治療が必要な場合は昭和大学病院や他病院との連携を密にして患者さんの利便を向上させたいと思います。

高血圧や糖尿病など生活習慣病は日常生活、特に食行動の指導が欠かせません。食事につきましては管理栄養士から指導いただき内容の是正に役立てばと思います。さらに日常の運動や生活行動についてもアドバイスをさせていただきます。食行動におきましては十分な咀嚼が空腹感の低減や肥満の改善に好影響を及ぼすことが指摘されております。食行動につきましては口腔リハビリテーション科にも協力いただき、望ましい咀嚼・嚥下について指導していただきたいと考えております。

昨今はアンチエイジングが喧伝されておりますが、動脈硬化につきましては血管年齢が表示される「血圧脈波測定装置」をこの春から総合内科に導入しました。心音と同時に手足の血圧を測定することで血管壁の弾力性や手足の血管の詰まり具合が表示されます。血液のコレステロール値や血糖値と併せて評価することでメタボリック症候群など生活習慣病の評価に貢献するものと考えております。

まだまだ至らぬ点が多数あり、歯科病院の患者さんや職員の方々の健康増進のため、診療内容を発展、充実させていきたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りたく心からお願い申し上げます。

### 四学部合同オープンキャンパス開催

入試広報委員長 山田 庄司

昨年まで行われていた各学部ごとのオープンキャンパスに加えて、本年度は新たに4学部合同オープンキャンパスが平成19年7月21日(土)、旗の台キャンパスで行われました。



高校が夏休みに入り、他大学の説明会やオープンキャンパスが集中している時期にもかかわらず、全体で326組(歯学部37組)の受験希望者とその父兄が大勢参加されました。

今回は、各学部の説明会のほか、大学生活や医系学部教育の専門性や特徴を理解してもらえるような多くの催しを用意しました。それぞれの催しは異なる会場で2~4回反復して開催されるので、参加者はプログラムを見ながら、好みの催しを自由に選択して参加できるようになっていました。

歯学部では「生活機能と歯科医療」というテーマの模擬授業、解剖実習見学、咬合力測定の体験実習などが行われ、参加者は真剣なまなざしで各ブースを回っていました。また、個別相談コーナーの隣に設けられた、在校生との語らいコーナーでは参加者が寮生活、部活動などについて談笑を交えながら話していました。

### 行事予定

広報委員長 五十嵐 武

8月1, 2日(水, 木): 昭和大学国際教育シンポジウム

8月21-23日: 第12回歯学教育者のための  
ワークショップ

8月25日(土): 第2回歯学部進学相談会

9月3, 4日(月, 火): 第5回四大学歯学部交流会

### 認定医の取得

広報委員長 五十嵐 武

日本補綴歯科学会認定医:

・樋口 大輔 講師 (歯科補綴学教室)

## 選択実習・岩手医科大学のD6学生受入

選択実習小委員会委員長 山本 松男

昭和大学歯学部は、岩手医科大学歯学部、北海道医療大学歯学部、福岡歯科大学歯学部と4大学歯学部交流会をもとに、相互のますますの発展に努めています。その一環としてD6で相互の学生が実習に参加できる選択実習に取り組んでいます。本年度は岩手医科大学歯学部より2人の学生さん(川村友里子さん、滝沢尚希君)を約2週間受入れ、本学学生と一緒に選択実習に参加してもらいました。これまで本学部からは平成18年度は岩手医科大学歯学部1人、北海道医療大学に4人、平成19年度では福岡歯科大学に2人、北海道医療大学に1人、それぞれ受入をしていただき、大変新鮮で広がりのある実習をさせていただきました。

昭和大学歯学部にとって他大学学生を選択実習で受入れるのは初めてでした。各大学とも実習内容や到達度などは必ずしも同一ではありません。そこで本年度は、高齢者歯科、美容歯科、歯科矯正科、そして歯周病科に1-3日ずつ参加してもらい、各診療科での医療の仕方、取り組みを学んでもらいました。治療計画のたて方などは宿題形式にし、試問・ディスカッション形式で考える機会をつくり、同時に一緒に実習に参加をしていた本学学生とも交流してもらいました。

新しい環境での経験は、それまでに学習してきた知識を違った観点から整理し、理解を深めることに大変役立ちます。それだけでなく他大学同学年の交流という「ヨコの繋がり」は、今後の人生の中でも貴重な財産です。参加してくれた2人は大変意欲的で、我々指導した側のスタッフも大いなる刺激を受けました。今後も、交流の機会がますます発展することを望みます。

## 昭和大学での実習を経験して

岩手医科大学 歯学部6年 川村 友里子・滝沢 尚希

私達は昭和大学で6月4日～14日の期間、臨床実習に参加させて頂きました。

初日は歯周病科での外来の見学でした。とても患者の数が多く、また治療も歯周基本治療の一環として幅広い領域の治療を行っている事に大変驚かされました。また、昭和大学の6年生の選択実習生のみな



んと交流させて頂き、お互いの学校の特徴や生活環境の違いなどを話し合うことが出来ました。

高齢者歯科では、外来見学と老人ホーム「好日苑」にて入所者の方々の口腔ケアや診療介助を経験しました。私達は老人ホームでの歯科検診を行ったことが無いため貴重な経験となりました。また、歯周病科と高齢者歯科それぞれで治療計画立案の課題を頂き、臨床を踏まえた口頭試問を受けることで、知識を深めることが出来ました。

歯科矯正科では、患者の多さもさることながら、コンビームCTや電子カルテ等の最新のハイテク機器を目の当たりにし驚きの連続でした。カンファレンスも見学し、チーム医療の重要性を再認識しました。

美容歯科では、外来見学とホワイトコートの実習を行いました。美容歯科は昭和大学特有の診療科と言うこともあり、興味をもって実習を行いました。美容歯科に通われている患者さんの意識の高さに驚かされました。

昭和大学はどの科も患者数が多く、実習するにあたってとても恵まれた環境にあると思います。その中で母校の臨床実習にはない経験をすることができ、充実した日々を送ることが出来ました。今回、昭和大学にとって、私達が初めての学外からの実習生と言うことで、先生方や学生さん達に暖かく受け入れて頂き、積極的に交流することができました。

このような機会を与えて下さった宮崎歯学部長をはじめ、山本教授、佐藤教授、その他多くの先生方、さらに右も左もわからない私達に親切に教えてくれた昭和大学の学生さん達に心から感謝しております。

## 診療統計 (平成19年6月分)

医事課課長 長谷 孝義

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	18,008	692.6	705.5	722.1
入院患者	295	9.8	9.8	11.6

(土曜日半日も1日として扱うため、平均は見かけ上下がっている)

## 報道

広報委員長 五十嵐 武

小児成育歯科学教室 教授 井上美津子

H19. 7. 1付け読売新聞に去る6月2日(土)、東京・よみうりホールで開催された、「2007年歯の健康シンポジウム『食育』は歯の健康から～メタボリックシンドロームと口腔ケア～」での、基調講演(歯とお口の健康と食べる機能の発達について)の記事が紹介されました。

## アデレード大学からの学生受け入れ

国際交流支援委員会 山本 松男

平成19年6月26日から6月29日までの期間、アデレード大学歯学部5年生（最終学年）のHieu Le（ヒュー・リー）さんが、SELECTIVE V（最終学年選択実習）として、本学歯学部滞在了。彼は、昨年も選択実習を本学歯科病院で行っております。今回は、卒業を冬に控え将来の専門性・興味に基づき、特にインプラント埋入後の補綴処置について勉強をしたいという希望を事前に伝えてきました。そこで、歯周環境整備、インプラントオペ、上部構造を中心とした補綴治療、技工過程を4日間という短期間でしたが精力的に参加、見学をしてもらいました。さらに、日豪でも歯科医療システム・保険システムの違いなどについてもディスカッションを行いました。快く実習に協力をいただきました古屋良一教授、真鍋真人准教授、高場雅之助教、中央技工室 山口室長、鍛治田副室長をはじめ、多くの方々に御礼を申し上げます。

一方で、昭和大学歯学部内で派遣選考を行っていた昭和大学国際交流プロジェクト（歯学部編）で3人の派遣学生が決まりましたので、今までにアデレードの派遣された学生（D6）を含めてHieu Leさんとのミーティングを行い、昭和の学生がアデレード大学を訪れた際に実習等が円滑に行えるようにディスカッションの機会を持つこともできました。学生同士のインタラクションがはじまったことは大変すばらしい事です。

選択実習が単に施設を訪れるだけでなく、継続的な相互の対話として発展すること、さらにこれが昭和の伝統の一つになる事を願ってやみません。

## 第12回 夏季スポーツ大会壮行会・講演会—歯学体での学生諸君の健闘を！

学生部長 立川 哲彦

本年度の歯科学生総合体育大会（歯学体）および東日本医科学生体育大会（東医体）が8月に開催されます。この大会への参加と大会成績の向上を願って夏季スポーツ大会壮行会が7月6日に開催されました。

壮行会に先立ち、講演会が開催され、本年度は保健理センターの米山先生から「運動と夏場の体調管理」と題しての講演と第3内科の酒井先生から「スポーツと突然死—AEDの使い方」と題しての講演がありました。約150名の学生の参加があり、余禄を持った競技の戦いには日ごろの努力による精神力が最大の武器であることを教えられ、各クラブの学生は



この余禄をもった気持ちで夏の大会に臨みます。

講演後、壮行会が諸星学生部長の挨拶で開催され、細山田学長の告辞、小口理事長、医学部長、保健医療学部長の挨拶があり、学生は多くのエールを受け、気が引き締まり、これからの大会に挑むいきごみを感じられました。



続いて、会場を1号館地下食堂に移し、立川歯学部学生部長の挨拶の後、荒川薬学部学生部長の乾杯で、懇親会が開催されました。懇親会では食事をしながら、各クラブ同士あるいは先生方と和やかな話し合いがおこなわれました。

## 第27回 昭和歯学会総会開催

昭和歯学会理事 井上 富雄

第27回 昭和歯学会総会が6月30日（土）に昭和大学歯科病院6階第1臨床講堂で、多数の聴衆を集めて開催されました。宮崎隆会長の挨拶に続いて9:00から一般演題の発表が始まり、11:00までの間に11演題が発表されました。11:00から上條奨学賞研究補助受賞講演として、口腔病理学教室の入江太郎先生が「レーザーマイクロダイセクション法の外科病理学への応用」のタイトルで講演されました。

11:40から12:00まで評議員会および総会が開かれ、庶務、学会、編集報告がそれぞれ担当理事からありました。次いで協議事項として学会H18年度決算案およびH19年度予算案が提出され、承認を受けました。

1時間の休憩後13:00から特別講演として、東京医科歯科大学 東みゆき先生に「口腔領域と免疫」という演題で1時間のご講演をいただきました。続いて、小児成育歯科学教室 井上美津子先生が、研究紹介講演として「母子保健指標としての小児の口腔状況に関する研究—齲蝕はもはや指標とならないか—」という演題で講演されました。

14:40からは、再び一般演題が6題発表され、15:40に無事総会が盛会のうちに終了しました。ご関係の皆様ご苦労様でした。



## 井上 紳 教授 歓迎会

小児成育歯科学 井上 美津子

去る6月20日(水)午後6時半から、洗足駅前の「オステリアペコ」にて、総合内科の井上 紳先生の教授就任歓迎会が催されました。当日は歯科病院で医療安全講習会が開催されたり、地方の学会へ出発する先生方など、何かとあわただしい日程でしたが、18名の教授および科長の皆様の出席を得て盛会裡にとり行われました。

井上紳教授は、平成17年歯科病院に総合内科が開設された当初より科長として着任され、以来、外来・入院患者および教職員・歯学部学生などの内科診療にあたられている他、学生の講義や病棟でのカンファレンスにも積極的に加わっていただいています。今後さらなる御活躍と御発展を期待しております。



## 昭和大学歯学部留学して

Dr. Md. Mazharul Islam

Islam 先生は、2003年に University dental college and hospital(バングラディシュ)をご卒業後、同大学の補綴学教室に入局されました。昨年4月から本年3月までの1年間、インプラントに関する研究・発表、治療の見学、技工等の研修をされました。帰国後は、バングラディシュでのインプラント治療の発展に寄与したいとのことでした。

(高齢者歯科学教室 菅原)



Dr. Md. Mazharul Islam

I want to give thanks to my professor who was submitted my paper and influenced about me to authority and I also thanks to authority for selection me. It was very good opportunity for me. When I came, that day was very memorable day for me because everything was new for me. My professor, all doctors, and secretary in my department are very nice person and they behaved with me very friendly. They have been helped me to learn about my research and clinical work, like very high technical

prosthodontic work and dental implant that is produce by my professor Yuji Sato. He is very talented person. I have enjoyed in my department very much.

One thing very noticeable and appreciable is that Japan is very clean, honest, time responsible and the safest country. Another thing is that Japan is very beautiful country. Here people are very kind. I have enjoyed Japanese culture. Now, I am going back to my country but I will never forget Japan. I shall have intention to come back to see you and review those sweet memories. I would also like to invite you to visit my country and my dental university also.

## 第26回 日本歯科医学教育学会報告

口腔生理学教室 中村 史朗

7月6日、7日の両日にわたり岐阜県長良川国際会議場で第26回日本歯科医学教育学会総会および学術大会が開催されました。本学からは、宮崎学部長、佐藤教育委員長、岡野病院長、向井教授、上條教授、中村教授をはじめ多数の教員が参加され、馬谷原、村田、内海、天野、片岡、浅里、池田の各先生と中村の計8名が発表いたしました。PBLをはじめ、早期体験実習、社会と歯科医療、臨床研修、各教室での新たな取り組みなど、現在の昭和大学の教育に対する熱意と方向性を、日本全国から集まった多数の参加者にご紹介できたと思います。

そのほか、歯科再生の道について、およびサイエンスという観点からみた教育についての特別講演や、共用試験、新歯科医師臨床研修についてのシンポジウムなど、興味深い講演が数多く行われ、現在の歯科医学教育の現状と今後の教育の方向性に対して新しい理解を得ることができました。今回の学会で得られた新たな知見や考え方を、今後の教育の場で積極的に生かしていきたいと考えております。

## 編集後記

広報委員(小児成育歯科学) 池田 訓子

今年の7月は梅雨のじめじめした空模様だけでなく、台風や大地震もあり天災が多い月でした。被害に見舞われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、歯学部だより7月号をお届けします。不慣れなこともあり、五十嵐委員長をはじめ諸先生方にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。お忙しい中、ご執筆くださった多くの先生方に心から感謝いたしますとともに、様々なご配慮下さいましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。